

平成 3 1 年 第 5 回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

平成31年 第5回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成31年4月24日（水） 13:40～15:00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 【教育長・教育委員】
西田教育長、今門代表教育委員、畠山委員、江草委員、柳田委員
【事務局】
河野教育局長
（企画総務課）川辺課長、富田補佐、河野室長、竹下係長、
堀指導主事、鬼束主任主事、
黒田主任主事、三角主事
（学校施設課）野口課長、年増補佐
（学校教育課）押川課長、小川補佐、串間補佐
（教育情報研修センター）和田所長、黒木次長
（生涯学習課）黒岩課長、中村補佐
（保健給食課）中野課長、松崎補佐
（文化財課） 富永課長、川崎補佐

4 議 案

番号	件名	説明者
議案第14号	宮崎市立学校管理規則等の一部改正について	企画総務課長

5 報 告

番号	件名	説明者
報告第12号	宮崎市学校施設長寿命化計画策定の報告について	学校施設課長
報告第13号	事故等の報告について	学校教育課長

西田教育長	<p>定刻になりましたので、ただ今から、第5回教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>本日の傍聴者はありません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、畠山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>それでは、会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。</p> <p>教育長報告です。4月19日（金）に行われました「第1回宮崎県都市教育長協議会及び宮崎縣市町村教育長連絡協議会第1回支部長会・総会」について報告いたします。また、同日に行われました「平成31年度市町村教育委員・教育長会議」について、報告いたします。</p> <p>2ページをお開きください。4月19日に宮崎市教育情報研修センターで開催され、各市町村の教育長が集まりました。9市の都市教育長の中からの役員選出を行いました。議事にもあります、第71回全国都市教育長協議会につきましては、5月23日、24日で富山市にて行われます。また、第33回九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会については、10月9日が理事会、10、11日に研究大会が宮崎市で行われます。</p> <p>「平成31年度宮崎縣市町村教育長連絡協議会」では、役員選出を行い、会長は宮崎市、副会長が門川町となりました。また、幹事は2市と2町ということで、日向市、小林市、そして高鍋町、五ヶ瀬町となりました。その他、事業計画、研修会についての報告がなされました。</p> <p>それでは、3ページをお開きください。同日の午後にこれは県教委主催ですが、宮崎縣市町村教育委員教育長会議に、私と今門代表で出席しました。挨拶では日隈教育長が、3つ重点を置きたいと言うことで、一つは命を大切にすることを進めたい、そして、学校と地域との連携協働です。これにつきましては、市も一緒ですけれども、コミュニティ・スクールは、県としても推奨していきたいということです。もう一つは、働き方改革ということで、県が3月に働き方改革の方針を出しましたので、これについて、各市町村の方でも進めてほしいということで、今後、市としても取組を進めてまいります。また、来賓挨拶として、郡司副知事が挨拶され、幹部の紹介等がありました。教育政策につきましては、平成31年度から34年、本年度から新しい教育振興計画が策定されます。5、6月には策定されると思いますが、またお知らせいたします。講演につきましては、地域と学校との連携についてということで、コミュニティ・スクールのディレクターが埼玉県から来られました。以上です。</p>
西田教育長	<p>それでは、1ページにお戻りください。（2）委員報告でございます。4月12日（金）に開催されました「平成31年度第1回全国市町村教育委員会連合会理事会」について、今門代表教育委員から、報告をお願いいたします。</p>
今門代表教育委員	<p>それでは、4ページをお開きください。4月12日に東京都の学士会館で開催されました、第1回全国市町村教育委員会連合会常任理事会へ出席しました。午前中は、5つの説明がありました。その</p>

	<p>中の一つが話題になっている「学校における働き方改革について」でした。文部科学省のホームページに働き方改革についての動画を載せているということで、拝見させていただきましたが、背景や狙いなど、とても分かりやすくまとめられていました。もし、まだご覧になっていらっしゃらない方は、是非一度見ていただくといいのかなと思います。分かりやすい動画です。</p> <p>また、その5つの説明の中に、教科書採択ということで、様々な留意事項についてのお話があり、とても参考になりました。午後からは、連合会の理事会があり、本年度の事業計画や予算、それから令和2年度の要望書等についての説明がありました。全国市町村教育委員会連合会の活動について知る、とてもよい機会になったと思います。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。1ページにお戻りください。次に、「(3) 教育局長報告」、「(4) 各課行事報告等」ですが、記載のとおりでございます。</p>
押川学校教育課長	<p>資料1ページの一番下、学校教育課の主な行事につきましてご報告いたします。</p> <p>まず、4月2日に行われました、教職員新任式でございます。教育委員の皆様にも出席していただき、ありがとうございました。本年度は、校長26名、教頭21名を含めまして、263名の先生方が、新たに宮崎市立小中学校に赴任されました。その内、新規採用教職員等が96名であります。</p> <p>続いて3段目にあります4月9日に行われました、中学校の入学式でございます。今年度、3,150名が入学いたしました。昨年度は、3,121名でしたので、29名の増でございます。ちなみに小学校を卒業した児童が、約3,600名おりますので、約450名程度が私立中学校、附属中学校等に入学したと考えております。現在のところ、中学校への在籍生徒数は、9,474名となっております。</p> <p>続きまして、4月11日に行われました、小学校の入学式でございます。今年度、3,698名が入学いたしました。昨年度は、3,785名でしたので、87名の減となっております。現在のところ、小学校への在籍児童数は、22,810名となっております。</p> <p>現段階での、小中学校に在籍します児童生徒は、32,284名となっております。教育委員の皆様には、小中学校の入学式への出席、さらには、あいさつをしていただき、本当にありがとうございました。以上です。</p>
西田教育長	<p>以上で行事報告等は終了ですが、お気づきになった点やこれからの課題、また感想がありましたら、お願いいたします。入学式の様子は、いかがだったでしょうか。</p>
畠山教育委員	<p>私は、100周年を迎える母校の小戸小学校へ行かせていただきました。その際に、在校生が新入生の側に座っていたのですが、そわそわしている一年生に声をかけて、お手洗いに連れて行くなど、お世話役をしている姿がとても微笑ましく、うれしく感じました。一人っ子の方や兄弟が少ないなど、家族の数も減っている現状があると思うので、そういう中で、家族や兄弟のような繋がりをもてる風景がとてもうれしく感じました。よい入学式に参加させていただきました。ありがとうございました。</p>
今門代表教育委員	<p>一年生の姿勢がとてもよく、こんな立派な1年生は初めてだとい</p>

	う話をしたところでした。子どもたちがとても落ち着いていて、素晴らしい入学式だったと思います。
柳田教育委員	私が行った学校は、やはり1年生は落ち着かない様子でしたが、6年生はしっかりしていたので、5年間でこのように成長するのかなと思うとともに、自由な姿もよいと思いました。
西田教育長	他にないようでしたら、会次第「4 議事」に入らせていただきます。5ページをご覧ください。本日、議案が1件ございます。 それでは、議案第14号「宮崎市立学校管理規則等の一部改正について」、事務局から説明をお願いします。
川辺企画総務課長	議案第14号「宮崎市立学校管理規則等の一部改正について」でございます。詳しくは、議案第14号別紙をご覧ください。 令和元年5月1日から、元号が「平成」から「令和」に変更されることに伴い、年月日の欄にある「平成」の文言の削除などをするものでございます。なお、本件については、別紙の5ページにありますとおり、改正する必要がある規則が宮崎市立学校管理規則をはじめ、五つございますが、一括して改正するものでございます。規則の順番は、宮崎市例規集での順番となっております。 具体的な改正内容ですが、第1条から第3条までと第5条の4本の規則については、年月日に表記されている「平成」の文言を削除いたします。 その他、第3条から第5条までの3本の規則については、生年月日の欄が元号を選択する方式となっておりますが、これを規則の様式上は空欄とすることで、今後の改元のたびに改正する必要が生じないようにいたします。なお、元号の表記については、規則の様式上に表記がなくても、実際に使用する様式に表記しておくことは差支えがないものとされておりまして、これまで本市では、規則改正の際に「平成」の表記が残っていた場合は、その都度、削除していたところでございます。以上です。
西田教育長	ただいま説明のありました、議案第14号について、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	それでは、議案第14号「宮崎市立学校管理規則等の一部改正について」、ご承認いただけますでしょうか。
委員	異議なし。
西田教育長	ご承認ありがとうございます。以上で議案は承認されました。次に報告でございます。7ページをご覧ください。本日、報告が2件ございます。
西田教育長	まず、報告第12号「宮崎市学校施設長寿命化計画策定の報告について」、事務局から説明をお願いします。
野口学校施設課長	報告第12号「宮崎市学校施設長寿命化計画策定の報告について」、資料は9ページです。年増課長補佐から説明させていただきます。
年増学校施設課長補佐	初めに「1 長寿命化計画の背景と目的」です。背景、本市の学校施設は、築30年以上を経過した建物が約7割を超えています。今後一斉に更新時期を迎えることが予想され、従来の建替中心の整備手法では財政負担が大きくなります。中長期的な整備計画を策定することにより、施設毎に求められる改修時期や具体的な改修方法が明確にすることが目的です。財政面では、施設の長寿命化対策を遂行していくことでコスト削減や予算の平準化を図ることができ

ます。計画を策定することにより、今まで故障発生の都度、修理を行っていた事後保全から故障が起こる前に補修・更新する予防保全に対応することができます。下の方に表1とありますが、計画対象施設が、浦之名小学校が廃校となったため、72校599棟になります。

続きまして、「2 計画の位置付け」でございます。宮崎市公共施設等総合管理計画の個別計画として、また、第2次教育ビジョンを具現化するものとして計画を策定しております。また、学校施設の基本的な整備方針としての宮崎市学校施設整備基本計画を踏襲するものとして本計画を策定しております。本計画は、宮崎市公共施設等総合管理計画の小中学校の実施方針として、

- ・長寿命化にむけ、具体的な取組を検討
- ・省エネルギー化を推進し、維持経費の抑制を図る。
- ・設備投資にあたっては、民間資金の活用
- ・余裕教室等の開放など学校施設の有効活用
- ・児童生徒数の将来推計を基に、学校の適正規模適正配置の研究などをいたします。

次に、「3 学校施設の現状」についてです。資料のとおり、

- ・児童生徒数は、ピーク時（昭和60年度）の約62.8%となっている。
- ・対象施設において、築30年を超えている施設が全体の約7割。
- ・校舎では、教室や体育館の老朽化が進行している。
- ・部位別では、屋上・屋根部や外壁、内装、給水管などの劣化が進行している。
- ・従来の手法から長寿命化に転換すると、40年総額で維持管理費が約317億円削減できると試算。しかし、今後かかる維持管理費では、長寿命化を行っても現予算の約3.2倍の費用が必要
- ・長寿命化だけでは、今後の財政状況に対応できないため、事業手法の見直しや事業の平準化の検討が必要

となっております。

表が2つありまして、上の方は従来型の40年で建て替える場合で、下の方が長寿命化した場合になります。こちらのほうはコスト的に40年間の総額で、従外型にしますと2,353億円で、長寿命化したときの総額が2,036億円で、317億円の削除ができるという試算になっております。しかしながら、現在かかっている施設の関連経費が、年間15億9000万円ですが、やはり3.2倍の51億円かかるということで、現実とかけ離れているという状況ではあります。

次に、「4 本計画の整備方針」についてです。基本理念「学校を利用する誰もが学校施設を長く快適に、そして安全・安心に使っていただける。」を基本として、以下の整備優先度を設定しております。

- ・優先度1 安心・安全
- ・優先度2 長く利用できる
- ・優先度3 快適に利用できる

この順番で優先順位を設定しております。続きまして、市の施策である「トイレ洋式化、非構造部材の耐震化、空調設備整備」におきましては、最優先整備とし、整備する項目の中で、どの学校を選定するかは、現地調査や定期点検を基本として決定します。これに

	<p>つきましては、定期点検を3年に1度、各施設を回っておりまして、学校からも情報を頂いています。優先順位の調査もその都度行っております。屋根や外壁、内装まで全て改修する工事を行うことが1番良い方法ですが、厳しい財政状況のなかで整備を進めていくことは、予算の平準化等の課題もあり、改修が進まないことが予想されるため、施設の一部を改修するうえで1番効果がある「屋上・屋根防水改修工事」を主体とし、整備を行っていく予定であります。</p>
西田教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第12号について、ご質問はございませんか。</p>
今門代表教育委員	<p>校長会の建物も建築して50年ほど経過していますが、建物の寿命を80年ぐらいまで伸ばすことは可能でしょうか。</p>
野口学校施設課長	<p>建物というのは、耐用年数というのがありますが、木造であるか、鉄骨であるかによって違いまして、一般的に鉄筋コンクリートであれば60～65年です。ただ、大規模改造とか行うことで寿命が80年ぐらいまで伸ばせるというのがありますが、学校でも、屋内体育館の大規模改造をすることによって、耐用年数を延ばそうとしています。それが鉄骨のものとなると40年までという話になります。</p>
河野局長	<p>長寿命化計画は、基本的には鉄筋コンクリート60年という耐用年数があるところを、計画では80年まで使えるものは、80年使っていきましょうということが入っております。躯体を残して、改修を行うことなどが長寿命化の狙いではありますが、校舎によって、それが出来るところと出来ないところがあるので、それは校舎等を判断しながら考えていくことになります。</p>
今門代表教育委員	<p>80年になったら、やはり建て直しを考えて行かなくてはならないということでしょうか。</p>
野口学校施設課長	<p>日本建築学会が耐用年数の指標を出しています。鉄筋コンクリートであれば一般的な耐用年数だと60年ですが、躯体のほうのコンクリートあるいは鉄筋が腐食していないと、ある程度適正に保たれているということであれば、80年ぐらいは使えるというような考え方です。今回、この長寿命化計画を作るときに、建物のコンクリート強度がどれくらいあるのか、中性化の進行がどれくらい進んでいるかということ調査し、耐用年数的に80年まではもつということで、今回この計画を策定しております。以上です。</p>
柳田教育委員	<p>生徒数がピーク時の3分の2ぐらいまでに減ってきているわけですが、今回の長寿命化計画は、建物全体を校舎とか教室数を3分の2に減らして建物自体を小規模化してやるというのは可能でしょうか。</p>
野口学校施設課長	<p>今回の考え方としては、一棟全体が安全かどうかという確認をしております。例えば、その一部を解体するとなったときは、その小さくなった部分での構造計算で安全を確認する必要が出てくるので、教室が少なくなったからといって、部分的に壊すのは難しいです。ただ棟全体を丸々壊しますよということであれば、それは問題ないと思います。</p>
畠山教育委員	<p>基本理念が「学校を利用する誰もが学校施設を長く快適に、そして安全・安心に使っていただける。」となっていて、この「快適に」というところが非常に気になるところです。資料の72ページに手洗い場の写真がありましたが、どのように使用すればこうならないかという工夫も必要だと思います。実際には清掃は子どもたちが行い</p>

	<p>ますが、その仕方に工夫とか努力が必要です。建物を60年も80年も持たせるように、学校をどれだけ大事にしていたかが重要になると思うので、その「快適に」というところをもう少しピックアップしてもらえたら、子ども達にとっても居心地のよい学校になると思います。</p>
野口学校施設課長	<p>畠山委員がおっしゃったとおり、今回のテーマの中に「快適に」ということも含まれていますが、計画の中心としては、整備面しか入っておりません。今後、5年毎に作り直しをしていきますので、そのあたりのことを視点の中を含めた形での見直しをやっていきたいと思います。</p>
畠山教育委員	<p>先ほど入学式の話をしました。1年生の子どもたちは5年たったから6年生。やはり、5年計画というのは、行政の中では常識かもしれませんが、やはりスピードが必要ではないかと思います。よろしく願いいたします。</p>
西田教育長	<p>課題ということでお聞きしておきます。それでは、今の説明で報告第12号については、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
西田教育長	<p>ないようでしたら、次に、報告第13号「事故等の報告について」でございます。こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
教育委員	<p>異議なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、これより非公開といたします。</p>
西田教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除いたします。</p>
西田教育長	<p>次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。11ページをご覧ください。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いいたします。</p>
柳田教育委員	<p>入学式で小松台小学校に行った時に、PTAの役員の方が言ってらっしゃったのが、生目小学校との境目が団地の中にあって、面倒な手続きもあるし、そうした子どもたちも増えてきているようで、境界を変えてもらうための手続きをしたいという相談を受けました。こちらとしては、報告しておきますと言いました。</p>
押川学校教育課長	<p>実際にそういったご意見を頂いておまして、小松台に隣接します「ピュアタウン」という住宅地なのですが、もともとは生目小学校の校区のところに小松台が広がって造成されました。校区の変更につきましては、校区のラインに対して、100メートルという範囲が調整帯でございます。そこにかかる方々を含めてご理解をいただかないといけませんので、今後、協議を進めなければいけないと考えております。実際に通学区域審議会を開く必要がでてくる可能性が高いと考えているところです。</p>
西田教育長	<p>通学区域については、他にもご意見がでていられるところもありますので、対応していきたいと思います。他にありませんでしょうか。ないようでしたら、会次第「5 その他」、「地域・家庭・学校との意見交換会及び総合教育会議のテーマについて」、事務局から説明をお願いします。</p>
川辺企画総務課長	<p>会次第「5 その他」の、「地域・家庭・学校との意見交換会及び総合教育会議のテーマについて」でございます。今後、教育委員の皆様にご出席いただく会議として、地域・家庭・学校との意見交</p>

	<p>換会を皆様方の日程を調整しながら、開催させていただく予定としております。また、市長との意見交換の場である、総合教育会議を8月9日(金)に開催させていただく予定としております。</p> <p>あらかじめ、会のテーマなどを決定する必要がありますので、時期が参りましたら、担当のほうから、テーマについてのご意見などを伺わせていただきたいと思いますと考えております。お忙しいところとは存じますが、どうぞよろしく願いいたします。説明は、以上でございます。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対して、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	次に、会次第「6 次回委員会について」、事務局から説明をお願いします。
川辺企画総務課長	次回定例会は、平成31年5月27日(月)、13時40分から教育委員会室において、お願いしたいと考えております。また、年間計画をお手元にお配りしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。
西田教育長	ただいま説明のありました日時で、委員会を開催いたしますので、よろしく願いいたします。続きまして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
川辺企画総務課長	(行事予定説明)
西田教育長	以上をもちまして、第5回定例会を終了させていただきます。